

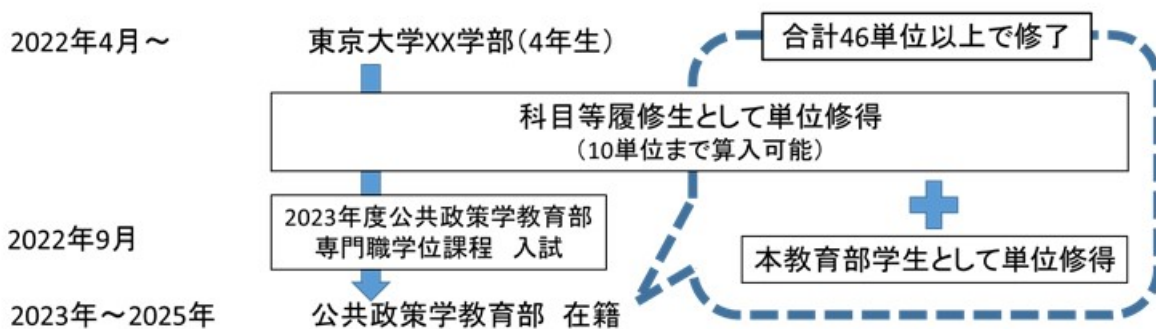
## 2022年度〈Sセメスター〉 大学院科目等履修生 (学部・大学院一貫教育プログラム)

平成26年度より、本学の学部学生が科目等履修生として大学院の科目の単位を修得することができるようになりました。公共政策学教育部では、この制度を利用して、**公共政策学教育部専門職学位課程に進学を志望する学部在学学生に対して、下記科目を科目等履修生として履修できるプログラムを実施しています。**

- ◎Microeconomics, Practice Session for Microeconomics (Sセメスター開講・合計5単位)
- ◎Macroeconomics, Practice Session for Macroeconomics (Aセメスター開講・合計5単位)
- ◎Econometrics for Public Policy, Practice Session for Econometrics for Public Policy (S/Aセメスター開講・各合計5単位)

これらの科目は、本教育部経済政策コースの必修科目であり、その他の経済分野の授業科目に先だって履修すべき科目と位置づけられています。学部中級レベルのミクロ経済学、マクロ経済学の知識があることが履修の前提となります。

### 2023年4月入学の場合のスケジュール



- 年間を通じて10単位を履修上限とします。
- 科目等履修生として修得した単位は、10単位を上限として公共政策大学院の修了要件である46単位に算入することができます。この制度のメリットは、大学院で修得する必要がある単位を減らすことで、在学時の学習の自由度が増すことです。例えば、修了要件を気にせずに海外留学での学習計画を建てられる、ダブルディグリー取得に必要な期間を短くできる、単位にならないインターンに従事することができる、などの活用方法が考えられます。
- ただし、専門職学位課程の規定により、在学年限(2年)を短縮することはできません。
- プログラム参加者は書類選考によります。
- 公共政策大学院に進学するためには、本教育部の大学院入試を受験し、合格する必要があります。
- 書類選考で選ばれなくても、その後の通常の大学院入試を受験できます。入試で不利に扱われることはありません。
- 本教育部国際プログラムコースへの進学を希望する学生も、このプログラムに参加できます。
- 科目等履修生として修得した単位は、学部卒業に必要な単位に算入することはできません。

出願手続については、[公共政策学教育部ウェブサイトトップページNews](http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/)を参照してください。

<http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/>